

配付資料 3：グリーンビルをたつ



グリーンビルで4週間ほどニューエル・K・ホイットニービショップを看病した後、預言者ジョセフ・スミスはそこをたつてオハイオに帰る必要があると感じました。しかし、ニューエルの怪我がひどかったために旅は難しいと思われました。ジョセフ・スミスの歴史にはこう書かれています。

「森の中を歩いた後、わたしは部屋に行って彼に話した。『朝出発することに同意してくれば、約6.4キロの道を馬車で川まで行き、そこで待機している渡し船で川をさっと渡ります。向こう岸に着いたら、馬を見つけて船着き場まで行きましょう。船着き場には船があるはずですから、それに乗れば10時前には川を上って順調に帰ることができます。』ホイットニー兄弟は勇気を出し、行くことを承諾してくれた。わたしたちは翌朝出発したが、すべてわたしが言ったように事は運んだ。」(Manuscript History of the Church, vol. A-1, p. 215, josephsmithpapers.org; spelling, capitalization, and punctuation standardized)

- 自分がニューエルだったとしたら、このような経験をしたら、預言者に対してどう考えるようになるでしょうか。
- あなたはどのような経験を通して主の預言者の言葉は成就するという確信が強くなりましたか。